





# 審査結果報告書

2021年 1月 5日

主査	氏名	阿古 弘樹	
副査	氏名	岡本 浩輔	
副査	氏名	青山 直善	
副査	氏名	海野 信也	

1. 申請者氏名 : 藤岡俊一郎

2. 論文テーマ :

Risk Factors for Progression of Distal Deep Vein  
Thrombosis  
(末梢型深部静脈血栓の増悪因子の検討)

3. 論文審査結果 :

深部静脈血栓症 (DVT) に対する治療は、抗凝固療法の適応などを含めいまだ十分なエビデンスはそろっていない。特に中枢型に進展するリスクであるとか、肺血栓塞栓症を発症するリスクなどに関してもデータが不十分である。これらのリスクを明らかにすることは、抗凝固療法やさらには外科的治療等も含めた治療法を考慮するうえでも非常に重要な要素と考えられる。

申請者は、DVT 患者 430 名のうち末梢型 DVT と診断された 253 名のうち、すでに抗凝固療法が導入されていた人を除外した 212 名を対象に検討を行った。2 週間後の超音波検査で血栓の消失を 21%に、血栓の縮小を 20%に認め、一方血栓の中枢進展を 6.3%に認めた。3 か月後に 52%で血栓の消失を認めた。保存的加療における中枢進展リスクは、活動性癌患者、Clinical frailty scale>7、D-dimer>8 $\mu$ g/ml であった。

学位論文は多くの患者データを用いた詳細なものとなっており、また、この結果は実臨床における DVT の治療選択、特に抗凝固療法に関してよいガイダンスを与える非常に重要なものとする。公開審査では、申請者は副査および主査からの質問に適切な対応が可能であった。副査および主査は、学位論文の内容の高さおよび質疑応答の的確さから医学博士の学位にふさわしいと判断した。